（様式⑦　小学校・中学校）

確かな学び・豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立美原西小学校

校長　深見　俊英

中学校区におけるめざす子ども像　『自らを律し，自ら学び続ける子』
あらゆる教育活動を通して，学ぶことの楽しさを知る子どもを育てる。その実現に向け，4つの柱「学びに向かう力」「復習・学びなおし」「言語活動」「家庭学習」に重点的に取り組む。
基礎的・基本的な知識・技能の習得を大切にし，これらを活用して課題の解決に向けて思考力・判断力・表現力を働かせる場面を積み重ね，自ら学びに向かう児童生徒を育成する。

令和7年度重点目標　合言葉『もっといい学校にしよう！』
1．「総合的な学力」の育成　～子どもの学力を伸ばす学校 【知】
2．豊かな心の育成　～ポジティブな言葉があふれている学校 【徳】
3．健やかな体の育成　～子どもが外で元気に遊ぶ学校 【体】

確かな学びの現状
「自ら学ぼうとする子どもの育成」を研究テーマに据え，授業改善に取り組んでいるが，依然として基礎基本の定着に課題があり，また自主学習ノートへの取組も不十分である。
しかしながら，指導方法の工夫を積み重ねることで，課題に対し子ども自らが考え解決しようとする姿勢が見られるようになっている。ICT活用についても，より有効な利活用について職員の意識の高まりが見られ，個別最適な学びや協働的な学びの実現をめざし，引き続き取組を継続する。帯学習を「チャレンジタイム」のさらなる充実を図り，計算力や漢字や文章等の書く力など，基礎基本の定着をめざす。また授業では，自分で考えそして仲間との対話を通して考えを深められる学習体験を積み重ね，振り返りをていねいに行うことで，自らの学びをしっかりと認識し，自ら学びに向かう力の育成をめざす。

豊かな心・健やかな体の現状
本校の強みである「たてわり活動（西小アップ）」「農芸高校等との連携」に加えて，帯活動「チャレンジタイム」において，学級遊びや異学年交流などで達成感を味わう成功体験を通して自尊感情を醸成するとともに，仲間と協力してやりきる体験を通して人権感覚の向上や豊かな人間関係の構築をめざす。
チャレンジタイムで取り組む「リズムなわとび」「体幹トレーニング」や体育委員会主催の「逃走中」「ドッジボール大会」「なわとびカード」，たてわり活動と体力向上を絡めた活動の「大なわ大会」「西小サーキット」などを通して，体を動かすことの楽しさや気持ちよさを知り，外で元気に遊ぶ子どもを増やすことで，メリハリのある学校での生活習慣の確立する。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～11月）		達成状況(年度末) 自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	総合的な学力向上	・子どもが楽しいと思う授業づくりに取り組む。	●子どもが「楽しい」と思えるような授業づくりを計画し，主体的に学ぶ姿勢を養う。	「学校の授業は楽しいですか」で肯定的評価80%以上	児童アンケート	5月・11月・1月						
		・自主学習に取り組む習慣を形成する。	子どもが継続的に自主学習に取り組むように、学校全体で工夫して指導する。	「自分から自主学習に取り組んでいますか。」で肯定的評価70%以上 保護者アンケート「自主学習ノートに積極的に取り組んでいる」肯定的評価70%以上	児童アンケート 保護者アンケート	5月・11月・1月						
		・漢字学習を楽しいと思える児童を育成する。	●子どもが漢字が楽しいと思えるような工夫した指導を学校全体で行い、漢字を主体的に学ぶ児童を育成する。	「漢字の学習に取り組むことは楽しいですか」で肯定的評価80%以上	児童アンケート	5月・11月・1月						
		・自分の考えを表現する力を育成する。	自分の考えを持つ機会を積極的に取り入れ，自分で考えて表現する力を向上させる。	「自分の考えを表現することが好きですか。」で肯定的評価70%	児童アンケート	5月・11月・1月						
		・友だちと学び合うことを大切にできる児童の育成	●対話を通して，考えを深めることができる学習活動を取り入れる。	「友だちと一緒に学習することはすきですか」「友だちと話して活動することで，考えを深めることができていますか」で肯定的評価80%以上	児童アンケート	5月・11月・1月						
豊かな心・健やかな体	自尊感情の醸成	豊かな人権感覚と道徳性の育成を図る。	●物事を最後までやりとげる成就感，達成感を味わう体験を増やし，自尊感情を醸成する。	児童及び保護者アンケート「自分には，よいところがあると思う」で肯定的評価75%以上	児童アンケート 保護者アンケート	5月・11月・1月 7月・12月						
			道徳等で学習したことを仲間づくりに活かし，思いやりの心を養う。	「道徳で学習したことは大切だと思いますか」で肯定的評価70%以上 「道徳等で学習したことを活かして友達と協力して活動できていますか」で肯定的評価70%以上	児童アンケート	5月・11月・1月						
		互いの気持ちを尊重し，思いやりを持つ子どもを育てる。	たてわり活動を通して，互いを尊重し合う人間関係を構築する。	「互いを思いやることができていますか」肯定的評価80%以上	児童アンケート	5月・11月・1月						
			●いじめはどんなことがあってもしてはいけないことだということを理解させるとともに，安心・安全な学校づくりをしていく。	児童アンケート「相手の気持ちを考えて行動していますか」肯定的評価80%以上 保護者アンケート「子どもは，相手を思いやり，いじめはしてはいけないことであると理解している」肯定的評価85%以上	児童アンケート 保護者アンケート	5月・11月・1月 7月・12月						
	体力向上	意欲的に運動する児童を育成するとともに，規則正しい生活習慣の重要性を理解させる。	●体育やチャレンジタイムで「体幹トレーニング」や「リズムなわとび」，委員会活動で「逃走中」や「なわとびカード」「ドッジボール大会」，たてわり活動で「西小サーキット」や「大縄大会」等を企画し，継続して運動に親しむ機会を提供し，運動好きな児童を増やす。	・各企画への参加率：90%以上 ・運動が好きな児童の増加 ・外遊びに行く児童の増加 （５・1月比較）	児童アンケート なわとびカード 新体力テスト	5月・11月・1月						
			チャレンジタイムや委員会活動等を活用して保健教育を行い，早寝早起きの重要性を理解させ，自ら実践する態度を養う。	「早寝・早起きが健康のために大切なことがわかる」肯定的評価80%以上 「低中高別に就寝時刻の目標を達成する」肯定的評価65%以上	児童アンケート L-gateアンケート ７つのやくそくチャレンジカード	5月・11月・1月						
地域協働	信頼される学校	関係機関との交流の深化を図り，地域協働による子どもの育成を図る。	地域教育協議会及び自治会・PTAと協働した取り組みを行うことで，地域連携を深める。地域の課題に対応した取り組みを年間1回は全校で取り組む。	「子どもは地域やPTAの行事に参加している」肯定的評価80%以上	保護者アンケート	7月・12月						
			地域の幼稚園，中学校，農芸高校との双方向の関係を強化し，地域の学校園との交流を各教科の学習に位置付け体験活動の充実を図る。	「学校は地域の学校園との交流を積極的に行い，各教科等の体験活動の充実を図っている」肯定的評価90%以上	保護者アンケート	7月・12月						

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)